

京都教区時報

第53号

発行所
京都市中京区河原町三条
カトリック京都司教区
広報室 (Tel 211-3768)
編集責任者 村上透磨
編集部 教理センター
田中司教認可

今月の小教区の貢一 四日市教会



キリスト者の喜び

司教総代理 村上 真理雄

年が改まる度に人々は喜びでみたされているように見受けられる。ひねくれてみれば、十二月三十日の次に一月一日で、何もおめでたくも嬉しいもないと云いたいところだが、すなおになつて、みんなと喜びを分ち合うことは必要であろう。過ぎし年のいやすことつらかたなことは忘れて、或はそれは踏台として、新しい年に希望をかけて、喜び合うのである。希望はたしかに喜びをかきたてる。不況を身にしみて味ったものは、今年はどうぞ景気回復の年になりますように、期待をかけて祈るのである。喜び、それはあらゆる角度から見ることが出来るであろうがキリスト者として、喜びについて考えてみたい。キリスト者の喜びは、福音の喜び「すべての人々のための大きな喜びの知らせを告げよう。今日ダビデの町で、あなたたちのために救い主が生まれ給うた、すなわち主キリストである。」(ルカ2章10・11) 救主の来臨は喜びの雰囲気をつくりだす。どんな形であれ、しいたげられて来たイスラエルの民は、メシアの来臨を感じ、待ち望んでいた。そのメシアが、今までになつた。とわれの身である人達に解放者が現われた。それはどんなに大きな喜びであろう。我々を自由にしてくれる。ハイジヤックに会つた人々は、早く自由になりたいと、どんなにか望むことであろう。そして自由になれた時の喜びは、味つた者でなければわからないだろう。我々を罪の奴隸から解放し自

由にしてくださる救主、主キリスト、その方との出会いをもつた私達は本当に幸せな者である。しかし本当に幸せであると感じられるためには、キリストに対する生々とした信仰がなければならないのではなかろうか? その度合いは人それぞれに異なると思うが、聖書を知ることキリストを知ることであり、祈りと共に聖書をよく読みより深くキリストを知り合うことによつて、充実したキリスト者となることが出来ると思う。キリストの弟子達でさえ、イエズスの受難が復活に通ずることが殆んどさとれなかつたがために、その希望は、受難によつてくつかえられ、キリストの出現にあまでは、以前の喜びにひたることができなかつた。しかし復活したキリストが、聖書の成就したこと示し、聖霊の力を約束してのち、天にのぼられたときには、彼等も大きな喜びにみたされ、聖霊の降臨にこの喜びをゆるぎないものとし、福音宣教の熱意にもえて全世界にちらばつて行つた。

救い主の証人となつた使徒たちが「みなのためにはずかしめられるに値するものとされたことを喜んだ」とあるように、私達もその目標にまで向つて進みた、と思う。正義と平和、青少年司牧、その他の信徒使徒職活動にはげまれる、司祭、修道者、信徒のみなさんの熱意は、きっとこのような喜びの段階にまで進みつゝあると確信している。

教区短信



△二月五日(日) 午前十時半

於 河原町教会
司教ミサ

※原則として月の第一日曜日の河原町教会午前十時半のミサは田中司教

様の司式によつてささげられます。
△二月十二日(日)

△二月二十七日(日)～二十八日(火)

司祭研修会「入信とゆるしの秘跡」
講師 中垣純師(セレジオ会)

△三月六日(日) 午前十時半～午後二時
司祭評議会定例総会
於 河原町カトリック会館六階

△一月十五日(日) 午後二時半～五時
講演「キリストと歩こう」
相馬信夫司教

△一月二十二日(日)
堅信式 於 創立教会(奈良)
邦人教区司祭月例会

△二月二日(木) 午後二時半
召命促進委員会
於 河原町カトリック会館六階

△二月二十九日(日)
堅信式 於 創立教会(奈良)

司祭修道士懇親会

去る一月四日、司祭修道士の懇親会が河原町カトリック教会において開かれた。

午前十一時、田中司教様をはじめ古屋司教様、村上(眞)総代理をはじめ四十数名による共同司式ミサが行われ、ミサ後、聖堂地下ホールで、メリノール会ハント師(86才の御高齢にもかかわらずがんばつておられる)の乾杯の音頭で立食会が設けられた。



ル会の新管区長になられたラッキー師の紹介があった。出席者は年頭で事情ある事ながら61名の多数の司祭修道士達が各会より集まり、祝い合った。

新駐日教皇大使着任

去る十月五日帰国先のローマで急逝された駐日教皇大使、イボリト、ロトリ大司教の後任としてこのほどマリオ・ガスパリ大司教が任命され、去る十二月二十日来日着任された。

同大司教は一九一八年イタリア生れ、四十年司祭叙階、七十三年メキシコ教皇使節に任命大司教に祝聖され現在にいたっている。

長崎教区に新司教誕生

パウロ六世教皇は、長崎大司教区の補佐司教に同教区のヨゼフ松永久治郎神父を任命し十二月三日付で発表した。司教祝聖式は新教皇大使がスパリ大司教の臨席のもとに行われる予定である。

松永久治郎被選司教の略歴

一九三〇年(昭和5)三月七日長崎県平戸市生まれ四十七才、長崎小神学校、福岡サンスルビス大神学校哲学科を経て、五十三年ローマ・プロバガンダ・ウルバノ大学に留学、神学を履修し、五十六年十二月二十二日司祭に叙階、その後ラテン大学で教会法博士、アテネオ・アンジェリコ大学で神學博士を取得した。帰國後は長崎大司教秘書、三ツ山教会勤務、要理教育研究所長、お告げのマリア修道会指導司祭等を歴任した。

△希望の家付 J・ユーラク師
要理教育研究所長、お告げのマリア修道会指導司祭等を歴任した。尚メリノール会指導司祭等を歴任した。

メリノール人事移動

メリノール新管区長

今度メリノール会ではボーソレー師の管区長任期満了により、後任にヨゼフ・ラッキー師を選任した。

師は一九二六年十一月六日米国に生まれ一九五三年六月十三日司祭叙階、其後來日して北海道で宣教に従事し、六年前より管区長顧問として活躍された。

又副管区長にはボール・ツーシェット師が任命された。師は一九二三年七月一日生れ、叙階は一九五〇年六月十日、同年八月日本に来日、京都青谷教会をぶりだしに京都、滋賀県、北海道、三重県と各地を在任され現在は彦根教会の主任として活躍中である。

尚メリノール会では次の様に新人事を発表した。

人事移動

▽鈴鹿主任 G・ギルマルチン師(唐崎)
▽唐崎主任代行 J・ゴールマン師 (M・M・ハウス)

▽草津病院付 T・高橋師(伊勢)
▽四日市トキワハウス B・ザーン師 (兼聖母の家)

△桑名主任 E・ライヤン師(桑名代行)
△津、津南、久居付 G・バーン修士 (再任)
△津、津南、久居付 G・バーン修士 (再任)

祝 永久誓願

京都市伏見区深草田谷町三番地のヌヴェール愛徳修道会本部修道院では、

一月五日(木)午後二時より、田中健一司教の司式で、次の二名の永久誓願式を行つた。

スール・フレ・エリシテ (小田原教会出身)

二宮昌子 片岡玉枝 (西院教会出身)

式には田中司教を始め十名の司祭が共

同ミサを捧げ、米日本のヌヴェール会總長を始め、日本管区長、各支部より集まつた同会シスター、誓願者の家族、友人、恩師のノートルダムシスター等一〇〇余名の参列者が喜びを共にした。

十主の平安

母、マリア松本カズの葬儀、追悼ミサに際しては、御列席、追悼して

いただき心より感謝しております。
これほど多くの方々に祈つていただ
いた母はまことにしあわせ者である
と思います。

皆さんのお祈りは、私にとつても
大きな慰め、励ましの力となりました。皆さん一人／＼の愛を感じました。心より感謝申し上げます。
尚尚、多くの方々より御香典をいた
だき有難うございました。勝手ながら教会施設への寄付をもつて香典返しに代えさせていただきます。

昭和五十二年二月二十二日

マルコ 松本秀友

(兼柱助任)

関西カトリック

学校研修会

去る十一月十二日 土曜日 京都カトリックセンターにおいて、関西カトリック学校二十八校、参加者一五〇名は、先ず、田中京都司教式、安田大阪補佐司教、都成神父、村田神父による共同ミサによつて、主の祝福を折つた。

田中司教は、当日の聖人、聖ヨザファト司教殉教者はたした人間教育の重大性について話され、参加者に勇気を与えられた。

午前十時四十五分より特別講演

フォス師(日本カトリック学校連合会理事長、元栄光学園校長)「人間教育こそカトリックの教育である」が、おこなわれた。師は、第二ヴァチカン公会議における、キリスト教的教育に関する宣言、特に「日本におけるカトリック教育」元カトリック学校連合会ヘルヴェク師の解説を引用し、カトリック学校の定義、キリスト教国におけるカトリック学校、つまり、教師、生徒が共にカトリック信者である場合と、ミッション国におけるカトリック学校のあり方のちがいと、その意義についての解説、特に、フォス師の日本に於ける長年の教育実践にもとづいた、確信にみちた熱演に、参加者は、新らしい勇気を与えた。

午後は、宗教指導、倫理指導者は同師をかこんで宗教教育の根本問題について話し合い、一方、生活指導分科会では、現在の指導問題等で意見交換がされ、年

に一度の合同研究会は、午後四時すぎ、盛會裡におわつた。

なお、関西カトリック学校女子部では夏季に球技大会を盛大に行い、校長は年に二度、意見交換などの会合をもち、各研究会は、年一回の分科会を持つていることを紹介した。

フォス師の『日本の父親におくる』は、現代教育、未来における子供の教育に関する心がけとして、すべての方々におすゝめしたい書籍である。(村田神父)

親文会(聖職者の父兄会)

前向きに動き出す

京都親文会(会長吉川軌生、担当司祭岡淑人)は去る11月20日河原町司教座に定例集会を開き、教区各地から約50名が参加し、死者の月にあたり関係物故者の記念と召命促進を話し合つた。

田中司教の捧げるミサに与つて後、地



西陣・松田照氏の年賀状より

下聖堂で交換会が行われたが、そこで司教は教会の云わば親族にある聖職者の父兄達に親しく挨拶し、自分の乏しい経験からではあるが召命の恵みは自分の血の、親文会のみなさんは教区の大好きな司祭、シスターの召命について出来たら

各教区内で力になつてほしいと訴えられた。丁度その席に偶然居合わせた東京カトリック神学院長早副神父からも神学校、神学生についてのホットな話しがあり、親文会としては、聖職者の家族会だから父兄ばかりでなく甥姪の有志も加わつて

若返り、先づ正確な名簿整備に着手し、各小教区にあつて出来れば召命促進の核になつて福音に応えて行きたいと各自の自觉を新たにした。

司教の足どり

(十一月／一月)

2 タイ国の司教來泊
3 臨時顧問会
4 ⑩桂教会堅信ミサ

田中英吉司教慰労と感謝の集い
(高松)

6 聖母の騎士代表と面談
7 レジオマリエ世界代表來訪

8 司祭評常任委員、大津瀬田幼訪問
9 彦根聖ヨゼフ幼改築落成式
10 津教会百年しめくくり祭
11 ⑪津教会百年しめくくり祭
12 愛徳カルメル(伊勢)小保訪問
13 唐崎教会信徒代表と面談
14 スヴェール会総長來訪
15 唐崎教会信徒代表と面談
16 ND小学、大学修院ミサ
17 教区修女連代表來訪
18 宣教司牧司教委員会(東京)
19 教区顧問弁護士面談(三条)
20 幼きイエズス会管区長來訪
21 関西WCRP平和大學講座参加
22 松本秀友師母堂追悼ミサ(宇治)
23 唐崎教会信徒代表と面談
24 洛星クリスマスマスター見学
25 ⑪クリスマス司教ミサ
26 京都朝禱会(平安教会)
27 ⑪教区信徒連絡準備会
28 邦人司祭月例会、顧問会(三条)
29 会館員クリスマス会
30 府関係課訪問
31 ヴィアトール夕食会(洛星)
32 教区内の司祭修道士の集い(三条)
33 永久誓願式(スヴェール会本部)
34 司祭評議会
35 小羊会代表と面談
36 山科アヴァマリア幼改築落成式
37 正義と平和講演会(相馬司教參加)

- | | | |
|-----|----|-------------------------|
| 12 | 12 | クラベル司教(フーリンビン)講演会参加(東京) |
| 26 | 18 | 宣教司牧司教委員会(東京) |
| 27 | 19 | 教区顧問弁護士面談(三条) |
| 28 | 20 | ⑪京都親文会(三条) |
| 21 | 21 | 関西WCRP平和大學講座参加(大阪) |
| 22 | 22 | 松本秀友師母堂追悼ミサ(宇治) |
| 26 | 23 | 唐崎教会信徒代表と面談 |
| 27 | 24 | 邦人司祭月例会、顧問会(三条) |
| 28 | 25 | ⑪教区信徒連絡準備会 |
| 12月 | 26 | 邦人司祭月例会(三条) |
| 1 | 27 | 正義と平和講演会(相馬司教參加) |
| 1 | 28 | 山科アヴァマリア幼改築落成式 |

新園舎祝別式

聖ヨゼフ幼稚園

昨年十二月九日、彦根カトリック教会（主任司祭ツーシェット師）付属聖ヨゼフ幼稚園は創立二十周年を迎えた。この神の恵みの日に地元彦根市はもとより来賓百数十名の参列があり、田中司教の司式によつて栄えある新園舎の祝別が行われた。司教はじめメリノール会管区長おソレ師など多数の祝辞があり、教会、幼稚園・PTA関係者は主のみ栄ええた。その恵みを深くかみしめ感謝した。



バイブルオルガンと 祈りの夕べ

記念式典後、祝賀パーティーでその感激は最高潮に達した。

印象的だったのは、市教育長の話であつた。「人格形成の上でも最も大事なのは、幼児期によい環境の中につけてこそ、宗教的情操教育も自然に身についていく。それが可能なのも私立の宗教的幼稚園であるからこそである」と力説、その余韻が聞えるようである。

マリア幼稚園（園長、花井拓夫神父）でも、田中司教の司式により関係者多数の参列のもと、昨年末に完成した新園舎の祝別式と竣工披露パーティーが行なわれた。新園舎はこれまでの年少年長各二クラスに対し毎年に高まる地域住民の方々の熱心な要望に応えると同時に老朽化し危険な状態にあつた園舎を建て直したもので、年少年長各三クラス定員、四〇名となつた。

記賀パーティー冒頭では、田中司教の豊富な経験の中から、児童教育のあり方、その重要性などについてお話をあつた。またパーティー中児童のリズム合奏、遊戯等も被露されて万雷の拍手をあび、いかにも幼稚園らしい和やかな雰囲気につづられた。

折からの寒波で附近の屋根は真白、列席者の身をふるわせる場面もあつたが、それだけに関係者には一層気持の引き締まる祝別となつた。



アヴェ・マリア幼稚園

新年の清々しさもまださめやらぬ一月

第九回クリスマス 市民の集い

去る十一月二十四日午後七時半から、恒例のクリスマス市民の集いが行われた。

マリア幼稚園（園長、花井拓夫神父）でも、田中司教の司式により関係者多数の参列のもと、昨年末に完成した新園舎の祝別式と竣工披露パーティーが行なわれた。新園舎はこれまでの年少年長各二クラスに対し毎年に高まる地域住民の方々の熱心な要望に応えると同時に老朽化し危険な状態にあつた園舎を建て直したもので、年少年長各三クラス定員、四〇名となつた。

記賀パーティー冒頭では、田中司教の豊富な経験の中から、児童教育のあり方、その重要性などについてお話をあつた。またパーティー中児童のリズム合奏、遊戯等も被露されて万雷の拍手をあび、いかにも幼稚園らしい和やかな雰囲気につづられた。

ロルと続く。参加された方の感想を知るためにアンケートもお願いしたが、七八名の方が答えてくださり、内二一名が来てよかつた。五五名が「まあよかったです」との答えであった。来る程の事もなかつたと答えた方は一名もなく、「一寸期待はずれ」と答えた方も二名だけと云う。まずは大成功に終つたと云うべきであろう。河原町教会の全力を結集したこの行事の成功を感謝するものである。



三井信託銀行

京都支店 TEL 075-231-8251
京都市下京区四条通東洞院東入
(大丸西となり)

御婚礼調渡品 室内装飾

安井和洋家具製造販売

営業所
京都市下京区五条大宮西入北側
TEL (075) 841-3438
自宅
京都市南区吉祥院西定成町
TEL (075) 691-9391

安全・有利な三菱の貸付信託
青い通帳は積立貯蓄のエース

三菱信託銀行 京都支店

TEL 600-91
京都市下京区四条通東洞院角
電話 (075) 211-7161番

「キリストと歩こう」

相馬司教の講演会に

多數参加

カトリック正義と平和京都協議会主催の相馬司教(日本カトリック正義と平和協議会担当司教)講演会が、一月一五日河原町カトリック会館六階ホールで開かれ、東京、広島からも代表が参加した。田中司教の挨拶の後、相馬司教は「リストと歩こう」と題し、社会問題(正義と平和)は信仰と深いかかわりがある(ロマ一四章)。十字架の意味するものは、対立する二つのものを一つにすること、これなしに救いはない(エフュソニ章)。これが正義と平和協議会の仕事である。我々はキリストと共にものを考え、聖書の中のキリストを行動において実現しなければならないと訴えた。

講演終了後、会長は、京都教区の各地区毎に協議会が設立されるよう要望する

おしらせ

◎講演会 「キリスト者として同和教育をどう考えるべきか」

日時 二月十二日(日)午後一時半～四時半

場所 カトリック会館六階ホール
講師 井上新二氏(第二錦林小学校勤務)
対象 修道者
会費 五百円

◎第四回視聴覚教育ワークショップ

日時 二月十九日(日)午後一時半～五時

場所 教理センター アネノクス
内容 スライドモンタージュの研究(1)

内容 sr.野元品子
会費 五百円

◎教会学校教師研修会

日時 一月二十六日(日)午後一時半～四時半

場所 カトリック会館六階ホール
講師 カシミロ・エルナンデス師

(大阪教区、ブルゴス宣教会司祭
テーマ「子どもの心理的発達と宗教教育」
対象 教会学校教師及び父兄、関係者、
会費 五百円)

◎第五回視聴覚教育ワークショップ

日時 三月五日(日)午後一時半～四時半

場所 教理センター アネノクス
内容 スライドモンタージュの研究(2)
講師 sr.野元品子
会費 五百円

◎人信の秘跡と許しの秘跡の研修会

日時 二月二十七日(日)二十八日(火)

場所 宇治市カルメル会黙想の家
講師 中垣純師(サレジオ会)
会費 五百円

とともに、京都協議会が同和問題に取組むことについての具體策を示し、全教区に対し、共同体として、キリストと共に歩こうと呼びかけた。

翌一日、東京、広島の代表を交え、今秋、京都で開催予定の正義と平和協議会全国会議の第一回準備会が開かれた。

なお、同協議会は、信徒を対象に、同和問題の第一回学習会を次のとおり催す(詳細は後日各教会へ連絡)。多数の参加を希望している。

とき 三月一二日午後二時から
ところ 河原町カトリック会館六階
(寺西記)

レジオ・マリ工

京都支部総会開かる
去る十一月十八日、午後一時半より三条河原町教会においてレジオの毎月の役員会(コミニチュウム)と年次親睦会が開かれた。河原町教会聖堂において聖体降

年創立以来全国的に会員が増加し、その支部が指導司祭のもとに小教区内の家庭、病院訪問、要理の研究、求道者への布教等各種の布教活動を通じて多くの人々に献身的な奉仕をなし多大の成果をあげている。

レジオマリエは一九二一年アイルランドのダブリン市に誕生したマリアのひきの軍団といふ意味をもつカトリック信者の組織団体である。日本でも一九四八年

その支部が指導司祭のもとに小教区内の家庭、病院訪問、要理の研究、求道者への布教等各種の布教活動を通じて多くの人々に献身的な奉仕をなし多大の成果をあげている。

広告についての御案内

時報に広告掲載を希望される方は、編集部までご連絡下さい。
掲載は原則として、1ヶ年毎の契約(年6回発行)とし、1回当りの掲載料は10,000円です。

京都市中京区河原町三条下ル
カトリック会館5F
教理センター内
京都教区時報編集部
TEL 075(211)3768

タイプ・活版
オフセット | 各種印刷
今道印刷

〒602 京都市上京区天神筋一条下
ル下堅町152
電話(075)463-6024番

あなたと明日を

大和銀行

預金も / 信託も……
カード一枚で現金が引出せる…
ダイワ(キャッシュサービス)

四日市から京都教区の皆さんにご挨拶申し上げます。信仰による挨拶と励ましは、初代教会の時代から信者の集いの中によくありました。これに倣つて私達は同じ父の家の方へ旅をしている兄弟に近づき、「頑張れ」という励ましの言葉を贈りましょう。

さて、当教会は教区の他の多くの教会に比べれば、まだ歴史の浅い教会の一つで、代々指導された神父様方もまだそれぞれに御活躍されていらっしゃいますが下文にありますように、信者数は決して少なくありません。あらゆる意味でまだまだ可能性の大きい教会であり、大いに教勢を伸ばさねばなりません。幸いにして信者の皆さんも教会のあらゆる行事に



初代教会の

ように

積極的に参加する活力を持ち、一朝事ある時には進んでイニシアティヴをとるヴァイタリティがあります。御存知のようにこの教区は、鈴鹿山脈のふもとから海まで非常に広い範囲に広がっていますがその中に散在する信者の皆さんには、互いに信仰の兄弟として知り合い、理解し合って、そしてそのつながりを最も大切にす るよう努力しています。

教区の皆さん、初代教会の精神にたちかえり、互いに心を合せて励ましあい、神をた・えながらこの旅路を全うできるよう頑張りましょう。

（四日市教会主任）
モンレアル神父



小教区の頁 四日市教会

私達の教会は昨年一月十五日に古屋、田中両司教様を始め、沢山の来賓をお迎えして、創立三十周年の記念式典を挙行しましたが、その折、「三十年のあゆみ」と題した記念誌を皆様にお渡しして、この教会のささやかではあります、御摂理に満ちた歴史を感謝して披露いたしました。

今でこそ四日市といえば公害の代名詞のようになりますが、今から三十年前には波静かな伊勢湾の奥深く位置する、白砂、青松に恵まれた、一地方都市にすぎませんでした。イエズス様はいつの場合でも、静かに食い姿で訪れます。この四日市も名古屋に近く軍需工場が少々あつたこともあって爆撃の雨にあい町は、焼土と化しました。その中で奇跡的に戦火をまぬがれた一家の応

援は、この度重なる苦難に耐え、神父様の強い指導の下に、一致して現在のコンクリート造りの教会を建てたのでした。献堂式には丁度米日中のウイーン少年合唱団が来堂し、「天使の歌声」で祝福してくれました。

ところで、この二つの大きな試練の他に、昭和四十七年に、この教会の司牧修道会が変わることも特記事項の一つです。この年、創立後二十五年、四代に亘るメリノール会の司牧から、スペイン本部をもつエスコラビオス会に代ったのです。第五代の主任神父様と助任神父様が同会から派遣されました。

接間をお借りして、初ミサが捧げられたのです。時に昭和二十二年二月一日、この記念すべきミサは、メリノール会のライアン神父様によるものでした。その翌年の十月にはもう繁華街の一隅に木造の教会が建設され、戦後の荒んだ街中で人々の心に小さな希望の灯をともしたのでした。以後順調な发展を見たこの教会は、昭和三十一年三月のムニ神父様の時に現在地に移転しました。それから二年後、かの伊勢湾台風の為に壊滅的な被害を受け、教会の修復もそこそこに、実に死者、行方不明、五、一二二名を数えた伊勢湾沿岸の人々の救済に教会はそれこそ一丸となつて活動しました。そして昭和三十八年四月、今度は聖堂香部屋付近から出火し、紅蓮の炎は本造った教会を一瞬の内になめつくしてしまいました。でも当時すでに六百名を超えた信者は、この度重なる苦難に耐え、神父様の強い指導の下に、一致して現在のコンクリート造りの教会を建てたのでした。献堂式には丁度米日中のウイーン少年合唱団が来堂し、「天使の歌声」で祝福してくれました。

ところで、この二つの大きな試練の他に、昭和四十七年に、この教会の司牧修道会が変わることも特記事項の一つです。この年、創立後二十五年、四代に亘るメリノール会の司牧から、スペイン本部をもつエスコラビオス会に代ったのです。第五代の主任神父様と助任神父様が同会から派遣されました。



活動組織は単純明快で、壮年会、婦人会、青年会だけで信者は、そのいずれかに所属し、それぞれ二、三名ずつの互選による役員で運営し、全ての活動や行事に参与しています。

又、人口三十万都市にふさわしく、カトリック系の教育機関、施設は、三才児童保育の教会学校をはじめ、教会直属の二つの幼稚園、男子対象の「海星中、高等学校」女子対象の「メリノール女子中学校」、女子対象の「メリノール女子中学校」等があり、それぞれの分野で深く市民の皆さんと関連し、その成果を大いに世に問っています。

このようにこの三十一年間、一家庭の応接間から消えることなく、灯し続けた聖体灯の下に一人でも多くの人が集い、祝福に満ちた生活ができるよう、その灯を守り継ぐことが私達に課せられた使命だと考えております。

芽

生え

(五)

右座義元

—京都教区五十年を振り返って

戦中、戦後にできた教会の諸施設についても様々なエピソードがあります。

話は少し前後するかもしませんが、草津病院には想い出があります。この病院はバーン師によつて建てられ、当初はメリノールのシスターに経営を任す予定でしたが、結局、訪問童貞会（現在の聖母訪問会）に任せられることになりました。

戦争が激しくなるにしたがつて、そのような大きな建物を病院にしておくのは勿体ないとのことで、軍需工場に譲渡するよう申し込みがありました。そのため滋賀県庁の特高課から海軍中佐をはじめ、特高課長、憲兵などが司教館までやつてきました。彼らは私と顔を合わせるや否や、「軍に協力するかしないか、一言で答えよ。」と迫つてきます。そのとき私は、「はい」と言えば病院を没収されるし、「いいえ」と言えば国債扱いされるだろうし、板挟みとなつて困りました。しかし、咄嗟にこんな返事ができたのです。

「今時、そんなことを尋ねるのは失礼なことです。でも協力の仕方にもいろいろある苦です。病院として業務を続け、傷痍軍人を受け入れるのも大切なことでしょう。だから軍需工場にすることは反対です。

対です。」

その言葉に彼らも押されてしまつたのか、「そのような強い信念でやつてもらおうのなら。」と引き下がりました。その応対をふりかえると、私は「聖靈の導きによつて語ることができる」という聖書の言葉を思い出します。

それに唐崎メリノールハウスに関しては、その差額を寄付するから感謝状を書いてほしいと言いました。確かに立派な感謝状を持って来ましたが、それには知事の印がなく勝手に作ったものだったのでしょうか。

終戦になつてからGHQが調査し、その土地を返してくれることになりました。でも、県庁では、その土地は金がないというから買いあげてやつたのだ、と言いつります。こちらは、もちろん売る意志などなかつたので、金もそのまま銀行に預けてあり、それを見せるところの主張が通りました。そのため返還するよう命令があり、手続きをして教会に戻つてきました。

こんな問題が起つても、私は何もごまかしていないので、正々堂々と主張することができます。それに、教会のことを思つていたので、何でもはつきり言つきました。

戦後にできた施設と言えば、まず学校と聖ヨゼフ整肢園でしよう。教育事業は私の懸案であります。戦後いくつかの修道会の協力を得て始めたのであります。

（訂正）前号の一頁上段ノートルダム女学院の徳目「徳と和」を「徳と知」に訂正いたします。



草津病院

い値は市価よりもずっと安いもので、どうせ手放さなくてはならないのなら少しでも高くと思い、土地ブローカーに売ることにしました。ところが、その情報が軍に入つたらしく、明日契約という時に軍から差し止めを受け、結局軍に売ることになりました。ブローカーが買い取るだけの金が払えないと言うので、それならその差額を寄付するから感謝状を書いてほしいと言いました。確かに立派な感謝状を持って来ましたが、それには知事の印がなく勝手に作ったものだったのでしょうか。

終戦になつてからGHQが調査し、その土地を返してくれることになりました。でも、県庁では、その土地は金がないというから買いあげてやつたのだ、と言いつります。こちらは、もちろん売る意志などなかつたので、金もそのまま銀行に預けてあり、それを見せるところの主張が通りました。そのため返還するよう命

命です。山々も薄化粧をしたり、厚化粧をしたり忙しいようです。冬は雪の子供たちも人間の子供たちも大はしゃぎ。首をコートに埋めているようでは、もう若くはないのでしょうか。新しい年、大切にしたいですね。（ア）



時報が対話
の手段なら
ば「互いに
心を開けあ
る」書く
者も読む者
も、投稿者
も編集者も。

教師が買入れたものですが、新しい家を建ててはいけないというので、古い家や土蔵を修理して住めるようにしました。しかし、アメリカと戦争が始まると、軍が「敵産」だから分けてくれるように言ってきました。将校の子弟たちを教育するために使いたいとのことです。その買

◆福寿草、しあわせをことばぐ花。道端でひつそりと黄色のつぼみを開き、外界の寒さを同つている。倒産、自殺、殺人、物騒な昨今にもう一度しあわせとはどう考えてみる。寒さもひとしおの二月（O）

（訂正）前号の一頁上段ノートルダム女学院の徳目「徳と和」を「徳と知」に訂正いたします。